



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名 東京インキ株式会社
 コード番号 4635 URL <http://www.tokyoink.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大橋 淳男
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部門理財部長 (氏名) 佐藤 健二
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5902-7652
 平成24年12月4日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	24,000	6.0	267	98.8	337	91.6	323	648.0
24年3月期第2四半期	22,644	△1.2	134	△18.2	176	△15.8	43	△97.8

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △144百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △71百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	11.96	—
24年3月期第2四半期	1.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
25年3月期第2四半期	45,814	—	18,774	—	40.4	683.06
24年3月期	47,992	—	19,002	—	39.1	693.07

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 18,491百万円 24年3月期 18,766百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
25年3月期	—	3.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,300	2.3	560	72.3	670	40.8	540	74.1	19.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表」の用語、様式及び作成方法に関する規則(第10条の5)に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	27,257,587 株	24年3月期	27,257,587 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	185,421 株	24年3月期	180,378 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	27,074,773 株	24年3月期2Q	27,082,548 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(6) セグメント情報等	12
(7) 重要な後発事象	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復旧・復興関連事業の需要や、エコカー補助金等の政策により緩やかな回復基調となりましたが、欧州の債務危機、円高の長期化等、引き続き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、新規製品の拡販および事業構造の改革に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が240億円で前年同四半期比13億5千5百万円の増収（6.0%増）となり、営業利益は2億6千7百万円で前年同四半期比1億3千3百万円の増益（98.8%増）、経常利益は3億3千7百万円で前年同四半期比1億6千1百万円の増益（91.6%増）、四半期純利益は3億2千3百万円で2億8千万円の増益（648.0%増）となりました。

次にセグメント別に概況をご報告いたします。

(インキ事業部門)

オフセットインキは、市場の縮小化が継続する中、拡販に努めてまいりましたが、数量および売上高は前年同四半期並みとなりました。

グラビアインキは、数量および売上高は前年同四半期並みとなりました。

印刷用材料は、オフセットインキと同様に市場の縮小化が進行しておりますが、売上高は前年同四半期並みとなりました。

印刷機械は、新分野向けの機器が寄与し、売上高は前年同四半期に比べ増加いたしました。

この結果、インキ事業部門の売上高は87億9百万円となり前年同四半期比5億8千万円の増収（7.1%増）、セグメント利益は、不採算事業からの撤退等の業態変革の推進、コストの削減等に努めた結果、3億6百万円（前年同四半期は7千9百万円のセグメント損失）となりました。

(化成品事業部門)

合成樹脂用着色剤は、包装用途向けが減少いたしました。エコカー補助金の政策により自動車用途向けが順調に推移し、数量および売上高は前年同四半期に比べ増加いたしました。

合成樹脂成形材料は、合成樹脂用着色剤と同様に自動車用途の受注回復があり、数量および売上高は前年同四半期に比べ増加いたしました。

この結果、化成品事業部門の売上高は111億9千1百万円となり前年同四半期比5億4千3百万円の増収（5.1%増）でしたが、セグメント利益は売上構成の変化により、5億4千7百万円で前年同四半期比2億1千3百万円の減益（28.1%減）となりました。

(加工品事業部門)

工業材料は、水処理用途の受注が回復し、また防災・減災向け新規製品の販売が順調に推移し、売上高は前年同四半期に比べ増加いたしました。

包装材料は、好・不況が混在し、売上高は前年同四半期並みとなりました。

仕入商品は、売上高は前年同四半期並みとなりました。

この結果、加工品事業部門の売上高は39億2千2百万円となり前年同四半期比2億8百万円の増収（5.6%増）でしたが、セグメント利益は3千8百万円で前年同四半期比2千3百万円の減益（38.1%減）となりました。

(不動産賃貸事業部門)

不動産賃貸事業部門は、不動産の賃貸収入が増加したことにより、売上高は1億7千5百万円で前年同四半期比2千3百万円の増収（15.3%増）、セグメント利益は9千8百万円で前年同四半期比1千5百万円の増益（18.9%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は458億1千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億7千7百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金の減少10億5千万円、たな卸資産の減少3億1千7百万円、繰延税金資産の増加3億2千4百万円、有形固定資産の減少6億6千4百万円及び投資有価証券の時価下落等に伴う減少5億5千7百万円等によるものです。

(負債)

負債合計は270億3千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億5千万円減少いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少9億4千3百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少1億3千9百万円及び長期借入金の減少4億6千8百万円等によるものです。

(純資産)

純資産の部は187億7千4百万円となり前連結会計年度末に比べ2億2千7百万円減少いたしました。主な要因は、利益剰余金の増加2億4千2百万円及び投資有価証券の時価下落等に伴うその他有価証券評価差額金の減少5億2千3百万円等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は12億8千万円で、前連結会計年度末に比べ10億5千万円の減少(45.1%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、7百万円の支出となりました(前年同四半期は、7億9千4百万円の収入)。主な要因は、税金等調整前四半期純利益1億4千9百万円、減価償却費7億7千5百万円が計上され、売上債権の増加3億1千万円、仕入債務の減少8億2千4百万円、たな卸資産の減少3億2百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、3億1千6百万円の支出となりました(前年同四半期は、5億9千7百万円の支出)。主な要因は、有形固定資産の取得による支出8億1百万円、有形固定資産の売却による収入3億2千6百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入1億5千万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、7億2千6百万円の支出となりました(前年同四半期は、6億4千1百万円の支出)。主な要因は、短期借入金の純増額6千8百万円、長期借入れによる収入2億円、長期借入金の返済による支出8億7百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績の動向を勘案し、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想(平成24年5月14日発表)を変更しております。詳細につきましては、平成24年10月26日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴う当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,425	1,375
受取手形及び売掛金	18,216	18,391
商品及び製品	3,921	3,812
仕掛品	1,667	1,613
原材料及び貯蔵品	1,667	1,512
繰延税金資産	263	597
その他	478	394
貸倒引当金	△61	△60
流動資産合計	28,578	27,637
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,786	7,388
機械装置及び運搬具（純額）	2,618	2,387
工具、器具及び備品（純額）	86	84
土地	3,710	3,497
リース資産（純額）	672	620
建設仮勘定	149	381
有形固定資産合計	15,023	14,359
無形固定資産		
リース資産	19	16
その他	62	65
無形固定資産合計	82	82
投資その他の資産		
投資有価証券	3,948	3,391
繰延税金資産	118	108
その他	480	466
貸倒引当金	△239	△230
投資その他の資産合計	4,307	3,734
固定資産合計	19,413	18,176
資産合計	47,992	45,814

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,792	12,849
短期借入金	4,511	4,580
1年内返済予定の長期借入金	1,605	1,466
リース債務	186	189
未払法人税等	146	37
賞与引当金	456	445
未払消費税等	160	139
未払費用	859	838
その他	697	487
流動負債合計	22,417	21,034
固定負債		
長期借入金	2,936	2,468
リース債務	543	474
繰延税金負債	265	305
退職給付引当金	2,387	2,341
役員退職慰労引当金	242	233
その他	196	183
固定負債合計	6,572	6,005
負債合計	28,989	27,039
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,246	3,246
資本剰余金	2,511	2,511
利益剰余金	13,176	13,419
自己株式	△47	△48
株主資本合計	18,886	19,128
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	65	△458
為替換算調整勘定	△185	△178
その他の包括利益累計額合計	△120	△636
少数株主持分	236	283
純資産合計	19,002	18,774
負債純資産合計	47,992	45,814

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	22,644	24,000
売上原価	19,638	20,884
売上総利益	3,005	3,115
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	798	787
賞与	92	94
福利厚生費	166	176
減価償却費	160	132
貸倒引当金繰入額	25	6
賞与引当金繰入額	189	190
退職給付引当金繰入額	109	114
役員退職慰労引当金繰入額	8	9
通信交通費	151	161
荷造及び発送費	547	524
その他	621	648
販売費及び一般管理費合計	2,870	2,847
営業利益	134	267
営業外収益		
受取利息	5	14
受取配当金	67	68
出資分配金	31	39
その他	15	32
営業外収益合計	120	155
営業外費用		
支払利息	43	41
為替差損	16	9
支払手数料	—	18
その他	18	16
営業外費用合計	78	85
経常利益	176	337
特別利益		
固定資産売却益	0	10
保険差益	24	255
特別利益合計	25	266
特別損失		
固定資産除売却損	36	1
投資有価証券評価損	11	0
災害による損失	23	—
減損損失	—	333
子会社売却に伴う損失	—	82
瑕疵担保責任履行損失	—	34
その他	—	3
特別損失合計	72	454

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
税金等調整前四半期純利益	129	149
法人税、住民税及び事業税	56	22
法人税等調整額	26	△245
法人税等合計	83	△223
少数株主損益調整前四半期純利益	45	372
少数株主利益	2	48
四半期純利益	43	323

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	45	372
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△114	△523
為替換算調整勘定	△3	7
その他の包括利益合計	△117	△516
四半期包括利益	△71	△144
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△74	△192
少数株主に係る四半期包括利益	2	48

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	129	149
減価償却費	871	775
減損損失	—	333
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	18	△9
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△52	△46
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1	△1
受取利息及び受取配当金	△72	△83
支払利息	43	41
有形固定資産処分損益 (△は益)	35	△9
災害損失	23	—
保険差益	△24	△255
投資有価証券評価損益 (△は益)	11	0
子会社売却に伴う損失	—	82
瑕疵担保責任履行損失	—	34
売上債権の増減額 (△は増加)	514	△310
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△577	302
仕入債務の増減額 (△は減少)	△220	△824
その他	36	△95
小計	738	81
利息及び配当金の受取額	77	77
利息の支払額	△42	△40
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△90	△118
災害に伴う支払額	△0	△7
災害による保険金収入	188	—
システム開発中止に伴う支払額	△76	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	794	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△75	△66
定期預金の払戻による収入	75	66
有形固定資産の取得による支出	△583	△801
有形固定資産の売却による収入	1	326
無形固定資産の取得による支出	△1	△17
投資有価証券の取得による支出	△8	△4
投資有価証券の売却による収入	—	5
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	150
貸付けによる支出	—	△8
貸付金の回収による収入	2	—
その他	△8	31
投資活動によるキャッシュ・フロー	△597	△316

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	325	68
長期借入れによる収入	—	200
長期借入金の返済による支出	△828	△807
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△55	△103
配当金の支払額	△80	△81
少数株主への配当金の支払額	△2	△1
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△641	△726
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△444	△1,050
現金及び現金同等物の期首残高	1,507	2,330
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,063	1,280

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	インキ 事業部門	化成品 事業部門	加工品 事業部門	不動産賃貸 事業部門	計	
売上高						
外部顧客への売上高	8,129	10,648	3,714	152	22,644	22,644
セグメント間の内部売上高又は振替高	24	20	5	—	50	50
計	8,154	10,668	3,719	152	22,694	22,694
セグメント利益又は損失(△)	△79	761	61	82	826	826

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差額調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	826
全社費用(注)	△689
その他の調整額	△2
四半期連結損益計算書の営業利益	134

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計
	インキ 事業部門	化成品 事業部門	加工品 事業部門	不動産賃貸 事業部門	計	
売上高						
外部顧客への売上高	8,709	11,191	3,922	175	24,000	24,000
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	18	2	—	25	25
計	8,713	11,210	3,925	175	24,025	24,025
セグメント利益	306	547	38	98	990	990

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差額調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	990
全社費用（注）	△722
その他の調整額	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	267

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

この変更に伴う当第2四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。